

# ADEACとジャパンサーチの連携

TRC - ADEAC株式会社

代表取締役 田山 健二

# デジタルアーカイブシステム ADEAC ( アデアック ) の概要

( 別添パンフレット参照 )

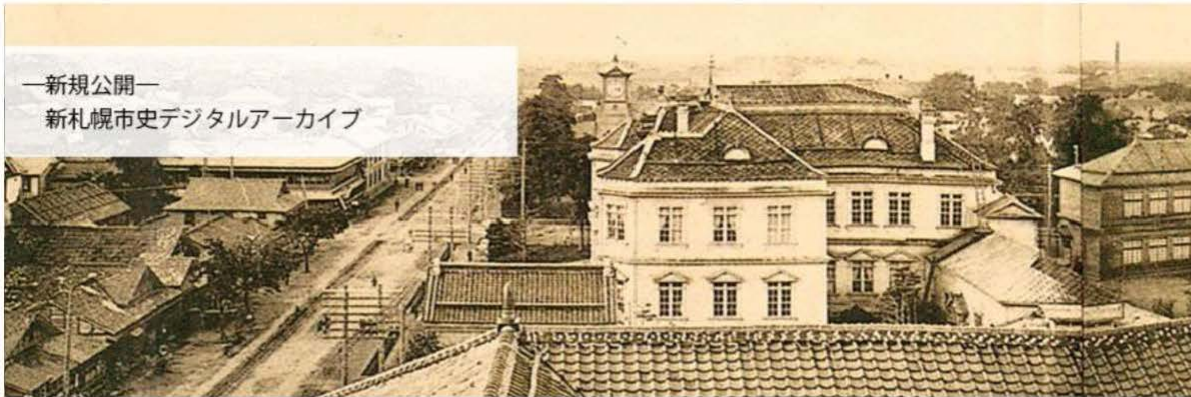
- ADEACは多様な文化資源をデジタル化・公開するためのクラウド型プラットフォームシステムです
  - 博物館・図書館・公文書館・大学等が所蔵している資料を各機関ごとにデータベース化して公開しています
  - 画像やテキストのみならず、動画、音声、3D、パノラマなど様々な形式のデータを、インターネットを介して自由に検索・閲覧できます
  - 東京大学史料編纂所社会連携研究部門との産学連携の研究成果 ( 2010～2012年度 ) に基づいています
    - ログイン不要、検索・閲覧無料 ( 一部有料 )
    - 特別なソフトのダウンロード不要
    - ジャパンサーチ、EBSCO社ディスカバリーサービスと連携

ADEAC（アデアック）は、自治体史や古文書をはじめとする史資料を機関ごとに公開しているデジタルアーカイブシステムです。



文字サイズ：[A](#) [A](#) [A](#)

搭載機関: 99 機関、メタデータ (目録) : 77,911 件、画像データ : 34,395 件、本文テキストデータ: 84,109 件 (⇒ 搭載件数詳細)



—新規公開—  
新札幌市史デジタルアーカイブ

### お知らせ

【11月13日（水）第21回図書館総合展フォーラム「地域資料とデジタルアーカイブのミッシングリンクー 図書館の底力への期待ー」を開催いたします。】

2019年11月1日 [お知らせ](#)

今月のピックアップを更新しました。

2019年10月27日 [公開情報](#)

『水戸市立図書館／デジタルアーカイブ』に資料を追加しました。

2019年10月10日 [公開情報](#)

『浜松市立中央図書館／浜松市文化遺産デジタルアーカイブ』に資料を追加しました。

フリーワードで検索

🔍 カテゴリーから探す

横断検索

⇒ 検索対象を絞る

公開機関から探す

資料の種類から探す  
(準備中)

時代から探す  
(準備中)

今月のピックアップ

🔗 [利用ガイド](#) 🔗 [公開方法の例](#) 🔗 [資料参考データ](#)



🌐 日本語

Translated by machine

# デジタルアーカイブシステム ADEACの現状 (2019年10月末現在)

- 採用機関 : 99 機関
- メタデータ: 77,911 件
- 画像データ: 34,395 件
- 本文テキストデータ: 84,109 件(p)
- アクセス件数 (トップページ) : 21,614 pv (2019年9月実績)

# デジタルアーカイブシステム ADEACのユニークなコレクション ( 1 )

- 浜松市立中央図書館 / 浜松市文化遺産デジタルアーカイブ
  - 最新刊を含む『浜松市史』全5巻のフルテキストDBを構築。博物館、美術館、市文化財課と連携して多彩なコンテンツを公開。
- 豊島区 ( 東京都 ) / としまひすとりい
  - 区史編さん事業と連動。地域ロケ動画の順次配信、平成史年表は典拠資料とリンク
- 大網白里市 ( 千葉県 ) / 大網白里市デジタル博物館
  - 「館を持たない自治体が提案する本格的デジタル博物館」をコンセプトとして展開
  - 「自治体別・視察の多い事業一覧 2019」( 日経BP総研 ) にも掲載された
- 西尾市 ( 愛知県 ) 岩瀬文庫 / 古典籍書誌データベース
  - 21,000件の詳細な古典籍目録。うち800点を超える古地図の高精細画像を提供
- 瑞穂町 ( 東京都 ) 図書館 / 温故知新 瑞穂町を旅する地域資料
  - 町の発行物のフルテキスト化、日米対訳。地元にはかないものの発見・デジタル化
  - 町を挙げた「みずほ学」の基礎資料の作成を図書館が担うという位置づけ

# デジタルアーカイブシステム

## ADEACのユニークなコレクション ( 2 )

- 日本ラグビーフットボール協会 / 日本ラグビーデジタルミュージアム
  - 協会主催の全試合の文字記録と写真・機関紙・新聞記事を紐付けし公開・英仏西訳付き
- 立命館大学図書館 / 加藤周一デジタルアーカイブ
  - 加藤周一の手稿ノート16冊を内容細目レベルで目録化・ページ単位で画像をリンク表示
  - 膨大な関連キーワードを設定・その一覧からの検索が可能
- 同志社大学・京都府立図書館共同事業 / 京都府立図書館貴重書コレクション
  - 占領期の日本観光資料「クルーガー文庫」の一部をデジタル化
  - IIIIF対応×CC0表示× DOI付与の3点セットで公開
- 河出書房新社・東京カートグラフィック / WEB版デジタル伊能図
  - ADEAC唯一の有料モデル・GISを駆使し「伊能大図」214枚と地理院現代地図を重ね測量線を表示・「測量日記」( 国宝 ) をフルテキスト化し、宿泊地と地図を連動
- 田川市図書館(福岡県) / 筑豊・田川デジタルアーカイブ
  - 子供たちが楽しく学べるよう炭鉱学習書をボーンデジタルで図書館が制作

# ADEACとジャパンサーチとの連携

- 2019年2月、ジャパンサーチ（試験版）稼働と同時にNDLサーチ経由で連携開始
  - NDLサーチとの連携:2017年3月から、OAI-PMHでメタデータを週次で提供
  - 新たに全メタデータにCC BYライセンスを付与
    - 全機関へのライセンス確認
    - ADEACではメタデータへの解説付加を推奨しているため慎重に対応（次ページp8参照:ex.署名付き解説）
- 連携して変化があったこと
  - アクセス件数: 微増 → p9
  - 「ギャラリー」からの思わぬ発見 → p10



弘前市立弘前図書館／おくゆかしき津軽の古典籍

史資料

目録データ 古文書類

[前へ](#)
[次へ](#)

識別番号	0000-0010-0070-0000-0000-1170-0000
資料所蔵機関の名称	弘前図書館
史料群	> 和装本
文書名	> 三國通覧図説 
文書名読み	サンゴク ツウラン ズセツ
文書名 (ローマ字)	Sangoku tsuran zusetu
差出・作成者等	林子平
差出・作成者等読み	ハヤシ シヘイ
差出・作成者等 (ローマ字)	Hayashi Shihei
数量	47丁
寸法 (縦)	23.5cm
寸法 (横)	17cm
その他の注記	写本
テキストの言語	日本語
テキストの言語コード	jpn
解題・説明	<p>林子平により看された軍事地理書。天明5年（1785）成稿、翌6年に刊行された。朝鮮・琉球・蝦夷地の三國と無人島（小笠原諸島）の各地域の地理や風俗について、国防上の観点から解説したもの。本文に加え、それぞれの地域の地図と、日本との里程を示した総図の五つの図を付す。これらの地域の中で、特に蝦夷地については詳細に論じられており、ロシアの蝦夷地侵略の危険性が説かれ、その対策として蝦夷人の教化政策と蝦夷地開発が主張されている。寛政4年（1792）に林子平が幕政を批判して処罰されると、本書は絶版を命ぜられた。弘前市立弘前図書館本は本文部分の写本であり、各図の部分には付されていない。書写年代など不明であるが、本文中の蝦夷人の習俗を描いた指図を忠実に写し着色を施している。（武井紀子）</p>
解題・説明 (英語)	-
原本の所在・史料群	弘前図書館
資料番号	通史 1 (古代・中世) -230
管理記号	W 290-3
自治体史掲載	<a href="#">三國通覧図説</a>
資料種別	古文書

[前へ](#)
[次へ](#)



# ジャパンサーチからのアクセス件数

目録ページへのアクセス件数



# 「ギャラリー」からの思わぬ発見



例えば、ギャラリー「しょうゆ」から、ADECにある船橋市デジタルミュージアム「下総國醤油製造之圖」と近江八幡市歴史浪漫デジタルアーカイブ「引札37 改正定価表(濃口・薄口醤油各種)」などを見つけることができ、普段埋もれている資料の活用に確実につながっています

ちなみにADEC上には、静岡県世界遺産センター所蔵の約1200点の富士山関連画像があり、ギャラリー「富士山」から導かれます

# メタデータの利活用

- メタデータの外部提供 (NDLサーチ以外の提供先)

- EBSCO社ディスカバリーサービス (EDS)

EDSは米国EBSCO社が供給する情報探索サービス。今年度よりこのDBの一つとして採用されており、とくに海外の研究機関からのアクセスを期待している。NDLサーチと同様、OAI-PMHにより週単位で提供

- デジタル岡山大百科

岡山県立図書館が運営する電子図書館。岡山県下のADEACユーザーである玉野市デジタルアーカイブの写真資料約4700件および津山郷土資料館の絵図のメタデータ14件を図書館の指定フォーマットで一括して提供



弊社では一般ユーザーの利用促進を図り、ADEAC自体の認知度を高めるため、今後も機会を捉えて影響力のあるアーカイブ機関にメタデータを供給したいと考えています

# ジャパンサーチ連携で見えてきた課題

- コンテンツに対する権利表示の明確化
  - 現状ではADEACの既存コンテンツに個別表示されているものが少なく、検索結果において利用範囲が不明確で使いづらい
- クリエイティブ・コモンズの推奨
  - 上記課題を解決するために、制作時（場合によっては営業時）にクリエイティブ・コモンズを推奨していく必要を感じる。とはいえユーザーの考えは多様で、柔軟に対応せざるを得ないのも事実
- 権利情報の受け渡しのルール化
  - ADEACのメタデータに権利情報を追加したのが比較的新しく、当時のNDLサーチとの取り決め時になかったため、データとしてジャパンサーチに届いていない
- メタデータ自体の権利
  - 連携開始の条件としてCC BYとしたが、本来CC0が望ましい。一方でコンテンツの解説はなるべく充実させたいという矛盾が生じている
  - CC0のメタデータ部分と解説部分を分離できる仕組みが必要

ご参考:

デジタルアーカイブ学会誌 2018,VOL.2,No.4

「ADEACの取り組み」

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsda/2/4/2\\_324/\\_article/-char/ja/](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsda/2/4/2_324/_article/-char/ja/)

お問い合わせ

TRC-ADEAC株式会社 田山 健二

[Mail:bcc06474@nifty.com](mailto:bcc06474@nifty.com)